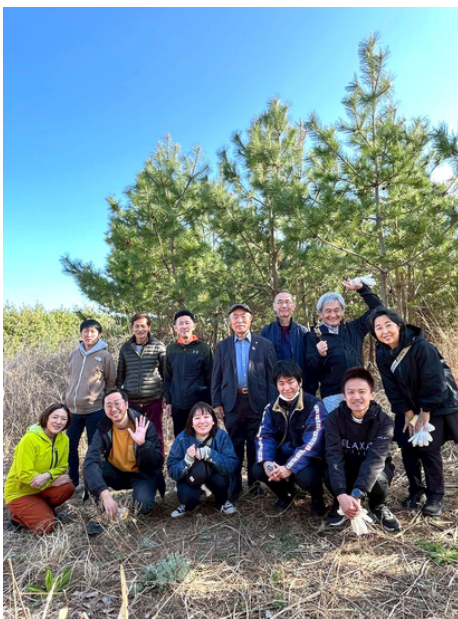


津波で流された防災林を、1000年続く防災林に クロマツ植栽管理ボランティア



4/9(水)、関上地区視察後、仙台空港横の松の防災林へ。ここは東日本大震災の際、津波で防災林の松林が薙ぎ倒されてしまった場所です。

仙台市で造園業を営む田中秀穂さんは「この地に1000年続くクロマツを！」と震災直後から種から苗を育て、近隣の小学生に苗を育てさせて、今から10年前にこの地に植樹をしました。そのクロマツが数メートルまで成長した今、さらに40mまで育成するよう、私たちはツルや草の除去のボランティアをしました。

植物への愛情と、故郷復興にかける田中さんは「こうして心を寄せてくれてもらえることがありがたい」とのこと。また他の社員とぜひ伺い、被災地復興の思いを共有できれば、感じた研修でした。